



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2024.6.1
NO.116

加速する「モラル」の低下に 歯止めがかからない！



常磐線の乗務員職場にて
業務用タブレットに
「歴史に残る最年少記録をつくれた(笑)」
とコメントしたインタビュー記事を掲載！

非常識

JR東日本の常識は社会の

あまりにも配慮をかけている行為！
それを管理できない管理者！
これが失敗を恐れず「攻め」の姿勢を貫いた結果なのか！？

常磐線を担当する乗務員職場にて社会常識から逸脱した行為がニュースに取り上げられた。人身事故の当該乗務員に対し面白おかしくインタビューをおこない、それを全社員が業務用のタブレットで閲覧できるサイトに掲載(現在は削除中)されていた。人身事故は一步間違えば当該乗務員にも責任が生じる事象でもあり、今回のコメント見ると、「故意または過失の人身事故は損害賠償責任を負う」ことに抵触しかねません。負傷者・そのご家族に対してあまりにも配慮に欠ける行為である。まさに「JRの常識は社会の非常識」。また、掲載する許可を出した管理者の資質も問題だ。この間、ジョブや不当労働行為など人を大切にしない施策の証左であり、JR東日本の会社として問題と社会からも捉えられており、**経営責任**だ！また、JR東日本では「失敗を恐れず攻める」このようなワードが最近よく使われている。たしかに挑戦することは大事なことだが、物事の本質を理解せず、行動してから考える(みどりの窓口閉鎖問題や京葉線でのダイヤ改正など)事象が相次いで発生している。PDCAという言葉があるがまさに今のJR東日本はP(計画)が足りない。現場に丸投げの権限移譲を即刻見直し、労使と共に計画を練り、施策を実施する従来のやり方に戻すべきではないだろうか？この会社は**信用と信頼**があって成り立つ会社であることを忘れてはいけない！

「想定内もできない」のに「想定外」は想像できるわけがない！ 本質の理解を疎かにした結果だ！